

第6節 活力ある暮らしやすいまち

3 観光

～観光に高い魅力と独自性があるまち

<A 基本計画の目標>

市民と観光客がともに快適に過ごせるまちづくりを進めます。
魅力ある観光資源と新たな地域活力の創造をめざします。
自然環境や歴史的遺産の保全・保護を基調とした観光地をめざします。

<B 目標指標：市民意識調査による市民の満足度>

目標指標	目標指標の定義	当初値	H19	H20	H21	H22	トレンド
市民満足度	サブタイトルにあるまちの実現状況について、市民が実感している割合	79.4 %	77.6 %	80.6 %	81.0 %	81.2 %	↗

<C 目標達成に向けた22年度の実績と自己評価>

自己評価

【市民経済部】

<p>※この分野の目標達成のために取組んできた事業の実績(前年度事業及び実施計画事業を中心にコメント)</p> <p>前年度からの継続を含め、由比ガ浜海岸中央公衆トイレ(21年度繰越)、寿福寺公衆トイレ及び天園公衆トイレの改修工事を実施しました。民間店舗の改装時に、店舗内のトイレを市民や観光客が利用できるよう協力を求めたところ、1箇所の店舗から協力が得られたところです。</p> <p>日本トイレ協会等との共催で「観光とトイレ」(鎌倉トイレフォーラム2010)を開催し、観光地における公衆トイレのあり方について研究を行ったところです。</p>	◎
<p>※この分野の目標達成のために取組んできた事業の実績(前年度事業及び実施計画事業を中心にコメント)</p> <p>「かまくら四季のみどころ」を毎月1回発行し、主要な観光情報の提供を行ったところです。</p> <p>観光課ホームページにおいて、「撮れたて鎌倉」をほぼ毎日更新して、最新の観光情報の提供を行ったところです。</p> <p>観光案内図「鎌倉」の内容を更新して、発行したところです。</p>	◎
<p>※この分野の目標達成のために取組んできた事業の実績(前年度事業及び実施計画事業を中心にコメント)</p> <p>平成22年度は新たな観光資源の創出を目的として、「観光資源ネットワーク構築及び着地型観光商品開発等事業」を実施したものです。当該事業では既存の観光資源とは異なる潜在的な観光資源の掘り起こしのための調査を行ったものです。</p>	◎

前年度当初目標に対し、◎=80%以上○=50%以上△=30%以上×=30%未満

<D 前回の市民評価委員会などからの指摘への対応状況>

市民評価委員会などからの指摘

指摘等に対する改善策・対応など

【市民経済部】

<p>・公衆トイレの改修や修繕を随時進める必要があるとともに、商店等のトイレに一般利用を協力要請し、美化を着実に進める必要がある。</p>	⇒	<p>平成22年度は、由比ガ浜海岸中央公衆トイレ(21年度繰越)、寿福寺公衆トイレ及び天園公衆トイレの改修工事を実施しました。店舗の改装を契機に、店舗内のトイレを市民や観光客が利用できるよう協力して頂ける店舗が1箇所誕生しました。</p>
<p>・観光についての色々な案内(ネット含む)が出ているが、市として観光情報の提供の充実が望まれる。</p>		<p>鎌倉市が提供する観光情報だけでなく、鎌倉市観光協会をはじめとする多くの観光事業者が提供する情報を一元化して提供できるようなしくみを引き続き、考えていきます。</p>
<p>・観光の分野には市民からも多くの意見が寄せられている。観光場所付近で困っている住民の意見は早めに対策を考えて欲しい。</p>		<p>市民からの意見や問い合わせには、できる限り迅速かつ真摯に対応しています。</p>

<E 22年度未達成事業の課題・問題点など>

【市民経済部】

<p>22年度に改修工事を実施した由比ガ浜海岸中央公衆トイレには多目的トイレを設置したものの、国道134号線歩道から公衆トイレに降りるスロープがないために障害者の利用が困難であるとの指摘を関係団体から受けました。スロープの設置工事について、概算の経費を積算したが、23年度の予算化には至りませんでした。</p>
<p>※未達成の理由<支障となった理由></p>

<F 今後の展開(取組方針)>

【市民経済部】

<p>観光客数が増えるだけでなく、鎌倉を訪れる観光客の満足度、観光客を迎える市民の満足度が上がるよう、引き続き、観光の質の向上を目指した取組を展開していくところです。 平成22年度に実施した観光資源ネットワーク構築及び着地型観光商品開発等事業の調査結果を受けて、平成23年度は具体的な商品開発につながる事業を実施していきます。</p>

<G 実績指標：事業ごとの進捗を示す代表的な指標>

目標指標	目標指標の定義	当初値	H19	H20	H21	H22	H22年度 目標値	H27年度 目標値
観光客数(+)	神奈川県が実施する入り込み観光客数調査に基づく本市の年間観光客数	1,800 万人	1,869 万人	1,934 万人	1,883 万人	1,948 万人	1800 万人	1800 万人
鎌倉に訪れた観光客の満足度(+)	観光課で計測している「鎌倉観光の結果、全体的に普通以上の満足を感じた人の割合」	65 %	70.2 %	73.9 %	76.2 %	78.0 %	70 %	75 %

<H 事業コスト総額>

分野別事業費		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
施策コスト	決算値 (A)	229,614千円	172,695千円	211,359千円					
	(国・県)	20,000千円	5,701千円	26,864千円					
	(負担金等)	1,477千円	806千円	603千円					
	(一般財源)	208,137千円	166,188千円	183,892千円					
	人員配置数	5.0人	5.0人	5.0人					
	人件費 (B)	48,632千円	48,828千円	48,232千円					
	総事業費(A+B)	278,246千円	221,523千円	259,591千円					
	対前年比		79.6%	117.2%					

鎌倉市民評価委員会の評価

～評価委員は、この分野の取組について次のように評価しています。



評価できるところ

- ・鎌倉市の観光をさらに充実させるためのトイレの整備や、鎌倉四季の見どころの発行など努力を積み重ねており、評価できる。今後の更なる推進に期待している。
- ・観光課ホームページで日々写真を更新している。市内各地の状況は、市民にとっても関心があるので継続してほしい。(写真の画質があまりよくないのが残念。)
- ・店舗内のトイレを、市民や観光客が利用できるよう協力を得る等、地道な活動を行っていることは評価できる。
- ・月刊「かまくら四季のみどころ」(無料)は大変よく纏っており、多くの観光客にとってうれしい情報誌である。



課題・提言

- ・観光地のトイレの維持管理であるが、高齢化に伴い、市民の散策も増加していると考えられ、観光客のみならず、地域住民のトイレ利用も少なからずある。トイレの維持管理を、地域に委ねる方向性も検討したらよいのではないか。
- ・「観光資源ネットワーク構築及び着地型観光商品開発等事業」は、観光開発に関する新しい試みとしてその成果を注視したい。